

main contents

リフォームで木の家に住む7つの柱

家の寿命を延ばす／森と木の文化を再び日本人の暮らしの中に／お財布にやさしい／耐震補強をし
て同時に木の空間を／省エネを／家事負担を感じない住まいに／記憶に残る家に

CASE STUDY「一戸建て編」

木の家リフォームで自分流のわが家を手に入れる

長屋住宅を若い4人家族の住まいに／コンクリートのメーカー住宅を無垢の素材の2世帯住宅に／
使い勝手の良さを実現したバリアフリーの住まい／解体予定だった家を竹小舞土壁の家に／明治期
の母屋と納屋をつなぎ2世帯が暮らせる家に／離れを息子の住まいに、温室をガーデンハウスに、
進化を続ける大正の家

コラム

日本の山と木の家リフォーム
木造住宅の改修と住宅の長寿命化
変わる住宅行政

知っておきたい住まいの改修プロセス

事前調査／詳細調査／住まいの診断レポート／リフォーム案の提出／リフォーム案の検討／リフォ
ーム案の詳細／リフォーム案の見積もり／リフォーム工事／引渡し／メンテナンス／ビフォーアフ
ター

CASE STUDY「ライフステージ編」

ライフステージで考える木の家リフォーム

田舎普請の小屋裏で収納力アップ／曾祖父が建てた民家を孫夫婦が直して住む／プレファブ住宅を
緑と風を楽しむ木の住まいに／変形プランの家を里山を楽しむ家に／車椅子対応の終の住処に／2
世帯同居のバツソラーハウスに／年老いた母のためのマンションリフォーム／安政年間の伝
統的住宅の改修／中廊下のある生家を改修して2世帯が住み継ぐ／築100年の民家を2世帯住宅に

コンクリートのマンションだから木を使おう

コンクリートのマンションリフォーム

CASE STUDY「マンション編」

木の家リフォームで実現させたマンション・シンプルライフ

中古マンションを無垢の木と白壁の住まいに／芦屋のタウンハウスをワンルーム風に仕立て直す／
吉野のスキフロリングをふんだんに使った新しい和の空間／大好きな千葉の森の木で、高層団地
をフルリフォーム／公団住宅を生け花が似合う木と左官壁の住まいに

木の家リフォームまるわかりファイル

準備編／性能向上編／暮らし向上編

「木の家リフォーム」プロジェクト 編

木の家リフォーム

を勉強する本

出版記念セミナー

Part 1 16:00～18:00

「木の家リフォーム」プロジェクトメンバーによるトークセッション

Part 2 18:00～20:00

参加者を交えた懇親会

空き家や維持管理の拠り所をなくした無管理住宅が全国的に増え続け、新築住宅から既存住宅改修という住宅ニーズの移行が本格化する中、長期優良住宅先導事業や木造建築病理学・住宅医スクール等を手掛けている住宅医ネットワーク関係者が中心となり、木の家リフォームの勉強本をつくりました。人間と同じように既存住宅を診断し、適切な処置が施せる「住宅医」という新たな職能の確立と技術の向上を目指し、より多くの関係者が住宅リフォームに向かうために、記念セミナーを開催します。

「木の家リフォーム」プロジェクトメンバー
(企画コーディネイト・執筆)

三澤文子

(事例紹介)

石田信男／大角雄三／神家昭雄／小谷和也
齊藤祐子／塩尻益生／高橋昌巳／築出恭伸
豊田保之／半田雅俊／古川泰司／米谷良章
三澤康彦／村上あさひ

(事例撮影・取材執筆)

北田英治／長町美和子／平山友子

(まるごとファイル執筆)

江崎登夫／太田拓也／小原勝彦／滝口泰弘
辻充孝／野池政宏／向山徹

(コラム)

有馬考禮／中島正夫

(企画・編集)

真鍋弘 ライフフィールド研究所

(発行)

社団法人 農山漁村文化協会

と き／2011年1月21日(金) 16:00～20:00

ところ／早稲田奉仕園 スコットホール(定員150名)

主催 住宅医ネットワーク(お申込み・お問い合わせ先は裏面)

**セミナー概要・申込方法**

日 時／2011年1月21日(金)
16:00~20:00(開場・受付15:00~)

場 所／早稲田奉仕園 スコットホール
(Part 2 懇親会も同施設内にて)
(東京都新宿区西早稲田2-3-1)

プログラム／

15:00~ 開場・受付
※当日会場で書籍販売を行っております。
※スコットホール内も自由に見学頂けます。

16:00~ **【Part 1】「木の家リフォーム」プロジェクト**
メンバー他によるトークセッション
当日参加メンバー他によるトークセッション

18:00~ **【Part 2】 参加者を交えた懇親会**

20:00 終了

対 象 者／建築関係者、その他誰でも参加できます
募 集 人 員／150名程度(先着順 Part 2 懇親会は50名程度)
参 加 費／Part1のみ、1,000円
Part1~2全て、7,000円(飲食代6,000円含む)

申 込 締 切／2010年1月17日(月)

申 込 方 法／下記、申込書に必要事項をご記入の上、住宅医ネットワーク事務局まで、そのままFAXにてご連絡下さい。必要事項をメールでご連絡頂いても結構です。

申込・問合せ先／

住宅医ネットワーク関東事務局(担当:滝口)
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-27-8-401
TEL 03-6300-9601 FAX 03-5365-4166
E-mail yasuhiro@wood-ac.or.tv
URL <http://www.hd-n.net/>

**スコットホール**

(完成直後)



(1960年代)

早稲田奉仕園の創立者H. B. ベニンホフは1908年早稲田鶴巻町にキリスト教主義の大学生寮「友愛学舎」を創設、1911年に牛込弁天町に「友愛学舎」を移転させた後、更に大きな総合学生センターを現在の地に作ることを計画しました。そして最初に建設されたのが、この赤レンガ組積造りの建物スコットホールです。

1918年にアトランタで開かれた米国北部バプテスト総会で報告された早稲田奉仕園の事業に強く賛同された、J. E. スコット夫人(1851-1936)から寄せられた多額の献金により、1921年末に完成、1922年1月に献堂式(竣工式)が行なわれスコットホールと名付けられました。

当時ベニンホフと親交のあったヴォーリズ建築事務所の設計原案に基づき、早稲田大学の内藤多仲教授研究室が施工監理を行い同研究室の今井兼次助教授(当時)が担当者となって設計を完成させ、竹田米吉店が施工を請け負いました。

その後同じ敷地内に赤レンガ造りの学生寮「友愛学舎」や宣教師館が建設され、学生センターが形成されます。スコットホールは完成当時より礼拝堂としてだけでなく、集会や催し物の会場に使われるなど、多目的ホールの機能を果たしてきました。1923年の関東大震災や1945年の東京大空襲で間近に迫った炎にも耐え、ほぼ建設当時のままの姿を今に残しています。



(現在のスコットホール)

1990年東京都より「歴史的建造物の景観意匠保存」の指定を受け、多くの人々の寄付・協力によって、構造の補強と外観の全面改修保存が行われました。(財)早稲田奉仕園ホームページより

**木の家リフォームを勉強する本 出版記念セミナー(1/21)**

参加申込書
住宅医ネットワーク関東事務局行 FAX 03-5365-4166

氏名／フリガナ

所属／役職

住所／

TEL／

FAX／

E-mail／

(該当する□にレ印をご記入下さい)

 Part 1 **のみ参加(参加費/ 1,000円)** Part 1~2 **全て参加(参加費/ 7,000円 飲食代6,000円含む)**

参加申込書を受領後、事務局よりメール又はFAXにて確認のご連絡を致します。